

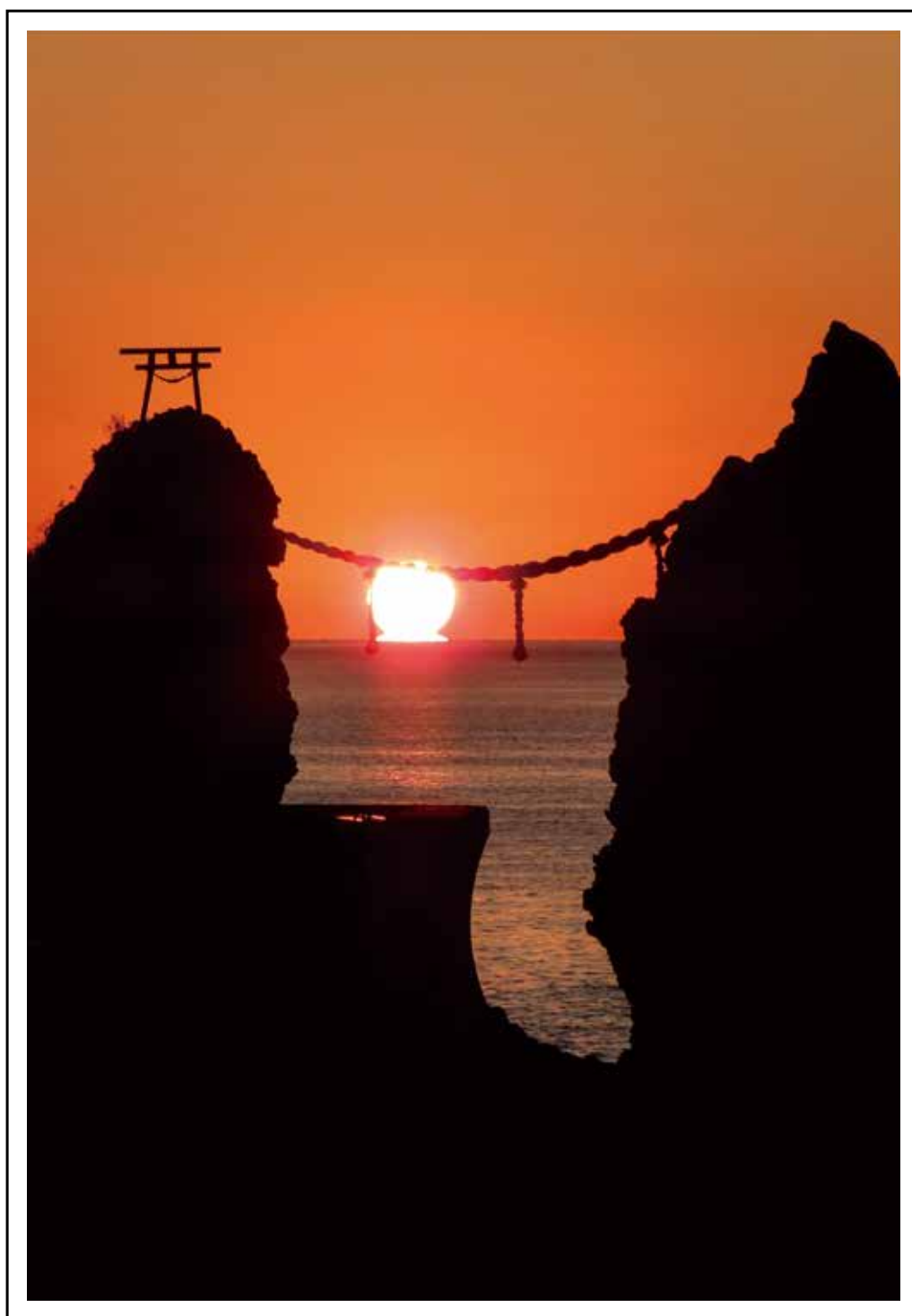
# いしだたみ

No. 181



令和8年1月1日

長崎法人会だより



「光る海」 赤間正義

## 目次

○「光る海」	表紙 赤間 正義
○新年のご挨拶	
○(公社) 長崎法人会会長 森 拓二郎	3
○長崎税務署署長 石津 武志	3
○長崎県知事 大石 賢吾	4
○令和7年度 国税庁長官表彰・税務署長表彰・感謝状の受賞に輝く	5
○「税を考える週間」公開講演会	5
○特別寄稿	
2026年の長崎県経済の展望 ——戦略的な価格・賃金設定の定着に向けて—— 日本銀行 長崎支店長 伊藤 真	6
○「長崎ヴェルカは一企業として、 社会にどう貢献するのか」 株式会社長崎ヴェルカ 代表取締役社長兼ゼネラルマネージャー 伊藤 拓摩	8
○会社紹介	
株式会社フジオカ 代表取締役 藤岡 秀則	10
○第16回「税に関する絵はがきコンクール」	12
○税に関する作文	14
○長崎税務署からのお知らせ	16
○令和7年度「税を考える週間」	17
○第41回法人会全国大会 高知大会	17
○第39回法人会全国青年の集い 山梨大会	17
○会務日誌	18
○令和8年度 税制改正に関する提言活動実施	18
○令和8年度 税制改正スローガン	18
○広告 (大同生命・AIG)	19
○広告 (アフラック)	20

## 表紙紹介

## 「光る海」



赤間 正義  
長崎県美術協会会員

野母崎半島の先端にある「夫婦岩」

鳥居のある方が男岩で、片方が女岩。

この岩は、四億八千年前にできた岩石

だそうで、地質学上では、「野母変は

んれい岩複合岩体」というそうだ。

夕日が沈む時にできる光の道は、

明日に続く希望の光にも見える。今年

一年、喜びの多い日であるよう願う。

公益社団法人 長崎法人会 青年部会

# 新春 公開講演会 のお知らせ



信州大学  
社会基盤研究所  
特任教授

やまぐちまゆ  
山口真由氏

**テーマ** 日本企業の多様性と女性活躍

**日時** 2026年1月26日(月) 14:00～15:30

**会場** ホテルニュー長崎 3階 鳳凰閣

入場無料

(先着順)

定員 400名

会員以外の方もご来場を  
お待ちしております。



# 謹賀新年



## 新年のご挨拶



長崎税務署

署長 石 津 武 志

新年あけましておめでとうございます。  
令和8年を迎えるに当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、森会長様をはじめ、役員並びに会員の皆様には、税のオピニオンリーダーとして税務行政全般にわたり深いご理解と格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、「税務研修会」や「年末調整説明会」の開催をはじめ、女性部会・青年部会を中心とした税を考える週間の街頭広報、「税に関する絵はがきコンクール」の開催、「租税教室」への講師派遣など、様々な事業及び社会貢献活動を展開されており、たいへん心強く感じた次第です。改めて、役員並びに会員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

さて、国税当局では、急速に進む社会のデジタル化を踏まえ、税務行政のDXを通じた「適正・公平な課税・徴収の実現」及び事業者のデジタル化の促進による、税務を起点とした「社会全体のDX」の推進に取り組んでおり、税務署ではデジタルを活用した「納税者の利便性の向上」への対応として、e-Taxを利用した申告手続等の更なる定着化及び納税のキャッシュレス化の推進を図っております。

特に、納税については、手続の回数が多い源泉所得税の「ダイレクト納付」の利用を促進し、「あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会」の実現に向けて取り組んでいるところであり、皆様には、引き続きこれらの取組に対するお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

また、税務署では間もなく「所得税、個人事業者の消費税及び贈与税の確定申告」の時期を迎えますが、これまで以上に「マイナンバーカードとスマートフォンを利用したe-Taxによる申告」及び「キャッシュレス納付」を推進してまいりますので、皆様には、引き続きこれらの取組に対するお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、本年の干支「午」は、その力強く前進する姿から、「勝負（挑戦）」と「飛躍」の年と言われております。本年の干支にあやかり、新たな年が、公益社団法人長崎法人会並びに役員・会員の皆様にとりまして、更なる「飛躍」の一年となることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



公益社団法人長崎法人会

会長 森 拓 二 郎

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年度の事業につきましては、各種研修会やセミナー等を通して、会員企業の皆様へ企業経営に求められる知識や情報等を提供することを主な目的として、積極的な活動を行ってまいりました。

研修方法につきましては、数年前より実施しているハイブリット型（対面とオンラインの組み合わせ）説明会の開催を定着させ、会員の皆様の利便性にも配慮した取り組みを継続して行っております。11月には、税を考える週間に合わせて本年も公開講演会を行いました。

また、将来を担う子どもたちを対象とした女性部会が担当する「税に関する絵はがきコンクール」を開催、青年部会が担当する「租税教室」については例年より多く実施しており、今後社会貢献活動も予定しております。開催・実施に際しご協力いただきました学校関係者ほか多くの皆様に深く感謝申し上げます。

今後とも、皆様に安心して研修会・講演会に参加いただけるよう、安全面等に配慮した規模・方式での開催を継続してまいります。

全国法人会総連合としても「税のオピニオンリーダー」として、地域経済と雇用の担い手である中小企業の厳しい現状を踏まえ、事業を継続するために必要な支援策や税制措置を講じることを求める「税制改正に関する提言」を政府・政党・関係省庁はじめ国会議員、地方自治体等に行っております。

改めまして、会員の皆様のご尽力と長崎県はじめ関係市町、税務当局ならびに友誼団体のご支援ご協力に厚く感謝申し上げますとともに、新たな年が皆様方にとりまして更なる飛躍の年となりますことを祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。





## 令和8年 新年知事あいさつ

長崎県知事 大石 賢 吾



新年明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、県では総合計画が最終年度を迎える中、新たな視点や発想を取り入れながら、積極的かつ着実に事業の推進へ取り組みました。将来を担う子どもたちが健やかに成長し、多様な活躍に繋がる社会を実現するため、昨年3月に「長崎県こども未来応援基金」を創設し、安全・安心な「こどもの居場所」や、冒険などチャレンジできる「こどもの体験」を提供する「こども場所」の充実に向けて取り組みなど、子育て環境の整備を進めました。

一方、本県の離島・半島を多く抱える地理的特性や人口減少など様々な課題がある中、県民の皆様が生活がより豊かで快適になるよう、最先端技術の活用にも取り組みました。

ドローンの活用については、本県初となる国家戦略特区の指定に伴い、昨年11月には、全国で初めてエリア単位でのレベル4飛行（目視外で民家上空等を飛行可能）による医薬品・日用品の配送が実証され、本県の物流や配送の未来を変えていく大きな一歩となりました。

製造業においては、半導体や航

空機など成長産業の需要を県内に取り込むため、県内企業の販路拡大や技術力向上、人材確保等の支援にも取り組みました。

また、昨年は県内外の皆様との交流が進んだ年でもありました。9月から11月にかけて、全国規模の文化の祭典「ながさきピース文化祭2025」を開催しました。開会式には、天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、本県の多種多様な文化の魅力を全国に発信する貴重な機会となりました。

10月には、国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州」が本県で初めて開催され、国内外の18チーム、106名の選手が、世界トップクラスのスピードと迫力ある走りでも多くの観客を魅了しました。

11月の「ポケモンGO ワイルドエリア・長崎」には、海外からも含めて約42万人の方々が参加され、長崎県の豊富な食や観光地等を楽しんでいたが、地域経済に大きな効果があったと感じています。

昨年は被爆80年、長崎空港開港50周年など様々な節目の年であり、長崎県の歩みやこれまで受け継がれてきた先人の方々の功績に思いを馳せ、これからの長崎県に思いを巡らす良い機会にもなりました。

開業4年目を迎えている西九州新幹線は、年々利用者数が増加するなど、利用状況も順調に推移しています。西九州ルートの未整備区間（新鳥栖～武雄温泉間）についても、関係者の動きが活発になり、議論も加速しています。引き続き、政府・与党に課題の解決を働きかけるとともに関係者と協議を重ねながら、全線フル規格による整備の早期実現に力を注いでまいります。

また、多くの国境離島を有する長崎県にとって極めて重要な法律である有人国境離島法が、令和9年3月に失効期限を迎えます。県では、市町の皆様と連携し、あらゆる機会を捉えて、法の改正・延長や支援の拡充について、国等へ強く働きかけてまいります。

こうした中、県では昨年、令和8年度からの5年間の指針となる「長崎県総合計画 みんなの未来図2030」を策定しました。「ながさきの誇りと希望を力に、みんなで夢あふれる未来をひらく」を基本理念に掲げています。同じく昨年策定した「ながさきブランドینگ・情報発信戦略」やロゴ等も活用しながら、引き続き、多方面から選ばれる「新しい長崎県」の実現に挑んでまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

令和 7 年度

## 国税庁長官表彰・税務署長表彰・感謝状の受賞に輝く

会員一同心からお祝いを申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

(公社) 長崎法人会 理事  
川添硝子(株) 代表取締役



【長崎税務署長納税表彰】  
川添研太様

(公社) 長崎法人会 筆頭副会長  
(株) カステラ本家 福砂屋 代表取締役



【国税庁長官納税表彰】  
殿村育生様

(公社) 長崎法人会 理事  
鈴木服装(株) 代表取締役



【長崎税務署長感謝状】  
鈴木元様

(公社) 長崎法人会 理事  
(公社) 長崎法人会 女性部会 副部長  
(株) 龍井 寶来軒 代表取締役



【長崎税務署長感謝状】  
松尾慶子様

(公社) 長崎法人会 理事  
(株) 永田会計 代表取締役



【長崎税務署長感謝状】  
永田吉朗様

## 「税を考える週間」公開講演会

講師：元日本テレビアナウンサー <sup>かみ しげ さとし</sup> 上重 聡氏  
フリーアナウンサー

テーマ：地域を元気にするスポーツのチカラ！

元日本テレビアナウンサーで現在フリーアナウンサーの上重聡氏を講師としてお招きし、約1時間30分にわたり公開講演会を開催しました。

講演会のテーマは「地域を元気にするスポーツのチカラ!」と題した講演で、ご自身のテレビ局でのスポーツ実況や各種取材についてのエピソードを交えながらお話され、また、PL学園時代、甲子園で横浜高校の松坂投手との延長までもつれる投げ合いについてもお話しされました。会場には約200名の方にご来場いただき、上重氏の講演を熱心に聞いておられました。





## 特別寄稿



# 2026年の長崎県経済の展望 — 戦略的な価格・賃金設定の定着に向けて —

日本銀行  
長崎支店長 伊 藤 真

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、日本銀行の業務運営に多大なるご理解とご協力を賜りまして、大変ありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2026年が、物価や賃金を戦略的に引き上げることを通じて企業の収益力の強化が進み、個人の所得環境の好転が続く1年となることを切に願っております。

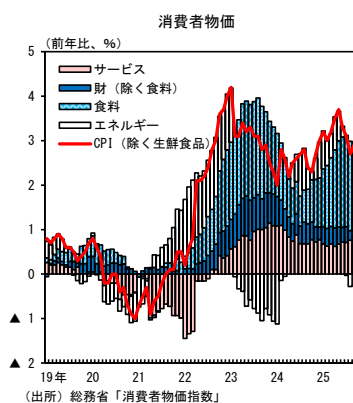
**（緩やかな回復を続けた国内経済）**  
昨年の日本経済は、海外経済の緩やかな成長と、そのもとの国内企業の好調な輸出・生産活動に支えられて、緩やかな回復をたどりました。

企業収益は、製造業において関税による下押しの影響がみられましたが、全体としては高水準を維持し、業況感も良好な水準を保ちました。こうしたもとで、設備投資は緩やかに増加したほか、株価は、日経平均株価が一時5万円を超える水準まで上昇しました。

企業の積極的な求人と賃上げにより、雇用・所得環境も改善を続け、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移しました。先行きについても、各国通商政策の影響から国内外の経済成長は、一時的に鈍化する可能性がありますが、その後は、再び回復経路に復するものと見込んでいます。

この間、国内の物価は、消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）の前年比が、振れを伴いながらプラス3%前後で推移しました。賃金上昇の販売価格への転嫁の動きが続いたことに加えて、米など

の食料品価格の上昇が影響しました。



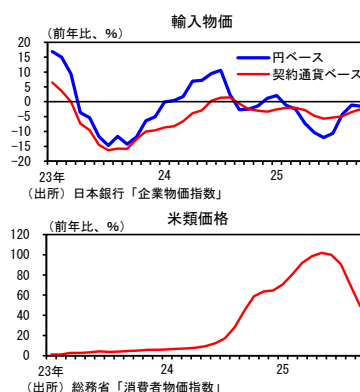
先行きを展望すると、これまで物価を押し上げてきた要因のうち、原油や食料を始めとした輸入品目の価格高騰の影響は、減衰しています。

輸入物価は、新型コロナウイルス感染症により制限された経済活動が世界規模で再開されたことや、ウクライナや中東での軍事衝突、為替円安などの影響により、急速に上昇し、これが近年の国内物価を押し上げる一因となっていました。2024年後半以降は下落傾向が続いています。

また、昨年の夏以降、食料品価格を押し上げてきた米類の価格は、高値で推移していますが、ごく足もとでは上昇から下落に転じる兆しが見え始めています。

こうした状況が続けば、国内物価を押し上げる要因は、労務費や賃金の上昇が中心となってくるものと考えられます。各国の通商政策や日中関係の影響が、今後、国内外の経済にいつ、どのように現れてくるかは不透明ですが、その影響が緩和されていくにしたがつ

て、国内物価は、2%の「物価安定の目標」に向かっていくことが期待されます。



## （着実な金融緩和度合いの調整）

日本銀行は、2024年3月にそれまで実施していた大規模な金融緩和政策を終了し、国内経済は「金利のある経済」に移行しました。その後、着実に金利水準を引き上げ、2025年もこれを維持し、金利の引き上げを行いました。今後、引き続き政策金利を引き上げていくことになると考えています。

日本銀行がこうした政策運営方針を採っているのは、現在の実質金利（見かけの金利から物価変動の影響を差し引いた金利）がきわめて低い水準にあり、これを踏まえると、見通しどおりに経済と物価が推移していく場合には経済・物価情勢の改善に際して、金融緩和の度合いを調整する必要があると考えているためです。

ただし、各国の通商政策等の影響をはじめ、様々な不確実性が高い状況が続いているため、内外の経済・物価情勢や金融市場の動向

等を丁寧に確認しながら金利引き上げの判断を行っていくことが重要と考えています。

一方で、大規模な金融緩和と政策の下で買い入れた国債などの資産の処分も進め、2025年には、ETFやJ-REITの売却も決定しました。

こうした資産の処分は、金融緩和の度合いを調整するものではなく、大規模な金融緩和と政策の終了に対応するものです。こうした観点から、金融市場をかく乱することがない規模とペースで処分を行っていくこととなります。

日本銀行は、引き続き、2%の「物価安定の目標」の持続的・安定的な実現に向けて、経済・物価・金融情勢に応じて適切に金融緩和と度合いを調整していきます。

#### (緩やかな回復が続く長崎県経済)

長崎県経済も、国内経済と同様、緩やかな回復が続いています。

県内企業の業況判断は、西九州新幹線の開業や長崎市街地を中心とした都市再開発に伴うインフラ整備、企業の進出、人口の流入などの効果が一服し、引き下げ方向にあるものの、引き続き高水準で良好な状態を維持しています。

企業の生産活動は、増加が続いています。電子部品・デバイスの生産高は、AIやデータセンタ、スマートフォン向けの半導体関連需要の高まりから、増加が続いています。

造船の生産高も、国際的な船舶市況の好転や為替円安、防衛予算の増額の後押しなどから、増加が続いています。

いずれの分野も先行きの受注が積み上がっており、当面好調が続くものと見込まれます。

一方、需要面をみると、観光消費額は、2025年も増加基調を継続しています。西九州新幹線の開業や長崎市を中心とした都市再開発、各種のイベントや当地を舞台にした映画やテレビドラマの放映、テーマパークのリニューアルなどの効果が続く中、観光客数が増え、実質に回復したことに加え、一人当たりの消費単価の上昇が消費額の押し上げに寄与しているものとみられています。

また、設備投資は、造船関連の設備更新や再生エネルギー関連の生産設備の新設など、製造業を中心に増加しています。これらの分野は、県内でも産官学連携の下で注力してきた分野ですが、政府が昨年11月に策定した「総合経済対策」の中で官民連携投資を行う戦略分野に位置づけられたことで、さらなる投資拡大が期待されます。

公共投資も、国土強靱化関連の幹線道路の整備や予算が増額された防衛関連施設の整備などにより、増加が続いています。

こうした活発な企業活動と人手不足感の強まりにより、2025年も、県内企業の賃上げの動きが継続しました。また、昨年12月から、当地の最低賃金も大きく引き上げられ、これを起点に広く企業は賃金の底上げを促されることとなりました。この結果、当地の雇用者所得は、増加が続いています。そのもとで、個人消費は、一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復しています。

#### (戦略的な価格・賃金設定の定着に向けて)

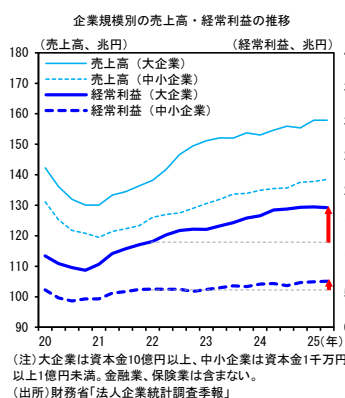
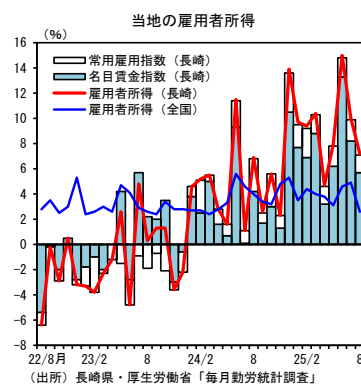
各国通商政策や日中関係の影響など、国内外の経済に対する不確定要素はありますが、こうした影響が顕在化しなければ、当地経済の緩やかな回復は、当面続くものと見込まれます。

その際、その効果を広く浸透させていくためには、定着しつつある物価と賃金の引き上げを、企業がより戦略的にっていくことが重要だと考えられます。

販売価格の引き上げは、値上げを極力回避するとのそれまでの企業の経営方針を大きく転換するものとなりましたが、価格の引き上げはやむを得ず行うという側面が強く残っています。

県内企業の収益は、全体としてみれば増加基調が続いています。市況が良い特定の企業や政府の施策と関連が深い業種に牽引されている面もありますが、収益を拡大している企業は、従来選択できなかった販売価格の引き上げを戦略的に活用しています。

また、大手企業と当地企業の多



くが含まれる中小企業を比べると、売上額がほぼ同様の伸び率で増加している一方で、経常利益の伸び率は、差が拡大しています。その要因の一つは、収益確保につなげる販売価格政策の違いにあると考えられます。

同様に、賃金の引き上げも、目の前の人手不足に対応する防衛的な側面が大きいと考えられますが、人口減少の下で事業を継続し拡大するためには、周囲に追随するだけでない賃金の設定が求められるものと考えられます。

この間、企業による販売価格の引き上げは、同時に、これまで値上げを受け入れなかった消費者の態度を変化させつつあります。

企業にとっては、販売価格の引き上げが、単にコスト転嫁の方策としてではなく、付加価値の創出を通じて利益拡大の手段としても活用することが経営上の選択肢となる経済環境へ移行していくことが重要だと考えられます。

こうしたことを通じて、2026年が当地経済の更なる発展と皆様のますますのご活躍の年となることを強く祈念しております。



# 「長崎ヴェルカは一企業として、社会にどう貢献するのか」

株式会社長崎ヴェルカ  
代表取締役社長兼ゼネラルマネージャー

伊 藤 拓 摩

## ◆Bリーグオールスターの経済効果

この記事が皆様の目に触れるのは、早くとも2026年1月初旬頃かと存じますが、1月16日から18日にかけて、「りそなグループ BLEAGUE ALL-STAR GAME WEEKEND 2026 IN NAGASAKI」が長崎で開催されます。

このイベントは、日本全国のバスケットボールファンの目が長崎に注がれる絶好の機会です。日本のバスケットボール界を代表するスター選手たちが、長崎に集結します。ハピネスアリーナを中心に、長崎駅周辺や浜町エリア、出島メッセでもイベントが開催される予定です。多くのバスケットボールファンや関係者が長崎を訪れ、バスケットボールだけでなく、長崎という街の歴史や文化を楽しんでくれることでしょう。

今回のオールスターは、長崎の地域経済にも少なからぬ影響を与えることが予想されます。2025年1月に千葉県船橋市で開催されたオールスターは、BリーグのサポーターイングカンパニーであるEX Japan社の試算によると、約12・8億円の経済波及効果と約52・0億円の社会的価値を創出しました。これは、2024年に沖縄で開催されたオールスターの約2倍の数字です。昨年までのオールスターは2日間でしたが、今年

は初の3日間となることを考えると、長崎でのオールスターが過去最大のインパクトを生み出す可能性も十分にあります。

オールスターを機に長崎を訪れる方々だけでなく、もちろん地元長崎の皆様にも、この特別なイベントを心からお楽しみいただきたいと思っています。詳細はBリーグの公式サイトなどで紹介されていますので、ぜひ注目ください。

## ◆ヴェルカの社会貢献活動「VELCARES」

さて、今シーズンの長崎ヴェルカですが、本稿執筆時点で全60試合中18試合を戦い、16勝2敗でB1西地区首位に立っています。まだ序盤戦ではありますが、クラブ創設から5シーズン目、そしてB1での3年目にして、チームはかつてない快進撃を見せています。昨シーズンのハピネスアリーナ開業、そして今シーズンの躍進を受けて、最近では国内外のメディアからクラブへの取材依頼が相次ぐなど、全国的、国際的な認知度、注目度も高まっていることを実感しています。

クラブの戦いぶりや勝ち負けも重要ですが、認知度や注目度が高まるほど重みを増すのが、「私たちは長崎ヴェルカは一企業として、社会にどう貢献するのか」という

問いです。

プロスポーツクラブは他の企業と同様、社会問題にコミットしてこそ、その存在価値が広く認められるようになると思います。特に私が高校・大学時代を過ごしたアメリカではそのような価値観が強く、優れたアスリートは同時に「社会的なロールモデル」であることも求められます。そのような背景から、私たちは「VELCARES」と題した社会貢献活動に注力しています。

たとえば今シーズン開幕直後の昨年10月、乳がんの早期発見・早期治療の啓発を目的としたピンクリボン活動の一環で、ホームゲームにお誘い「ROCK THE PINK DAY」というイベントを開催しました。長崎市の女性医療専門クリニック「T・イクリニック長崎」さんなど、私たちのパートナー企業に協賛いただいたこの試合では、来場者全員にピンクのTシャツを配布し、選手たちもこの日だけのピンク色のユニフォームを着て試合に臨みました。試合当日、アリーナの外に設置したマンモグラフィ車による無料の乳がん検診はすぐに予約で埋まるなど、ファンの方々も積極的にイベントに参加してくれました。

ピンクリボン活動の取り組みは今シーズンで3年目になりますが、過去にはこのイベントをキッ



カケに乳がん検診を受けた方の腫瘍が見つかるなど、早期発見につながった事例もあります。このイベントが行われた当日の試合で37得点を記録しMVPに輝いたスタンリー・ジョンソン選手は19歳の頃、母親を乳がんで亡くしたことを、試合後の記者会見で語りました。選手たちもクラブの取り組みの意義を理解し、深く関わってくれています。

### ◆パートナー企業と共に 離島の子どもたちを支援

また、もうひとつ別の事例を挙げると、離島の子どもたちを支援する「BRAVE ONE（ブレイブワン）」という取り組みがあります。

長崎特有の社会問題として、離島地域における子どもたちの教育や社会経験を巡る問題があります。長崎は日本で最も離島が多い都道府県ですが、本土と離島では子どもたちが得られる教育や社会経験に格差があるのが実情です。離島には離島ならではの素晴らしい文化や自然がある一方で、離島で生まれ育った子どもたちがその地でできることには限りがあります。たとえばバスケットボールをしようにも、そもそもの島内人口が少ないため「練習試合の相手が見つからない」なんてこともあるそうです。

そこでヴェルカは2023-24シーズンから、離島の子どもたちをアリーナに招待して、バスケットボールのトーナメント（離島対抗戦）やヴェルカの試合観戦、さらにはアリーナ内でちょっとした職業体験などを提供する機会をつくっています。離島から来る子どもたちや先生方の交通費や宿泊費を考えると、それなりの費用がかかるプロジェクトですが、この取り組みも複数のパートナー企業が支えてくれています。ヴェルカが取り組んでいる社会貢献活動の多くは、パートナー企業の皆様と共に行っているものです。

スポーツクラブのスポンサーというと、昔は「ユニフォームに企業名を入れる」「試合会場に商品の看板を出す」など、広告効果や企業のイメージアップを図るという目的が中心でした。もちろん今でもそれは重要な要素ですが、今はそれ以上に「共に社会貢献活動に取り組みたい」という声を多くの企業からいただくようになりました。プロスポーツクラブにとって企業とのパートナーシップは、クラブの経営に不可欠な要素であると同時に、クラブが目指す社会を実現していく上で必要なものでもあります。今後も地元企業の皆さまとの関係性を大切に、ヴェルカがここ長崎で果たすべき役割は何かを、問い続けていきたいと思っています。





代表取締役

藤岡 秀 則

## 会社紹介

第146号

## 株式会社 フジオカ

～フジオカ 126 年の歩み～

## ◆フジオカ126年の歩み

フジオカの歴史は、明治時代―私の曾祖父 藤岡清一（1863年 文久3年生まれ）にまでさかのぼります。

清一は20代で父の清助から引き継いだ大阪の米問屋を米相場に失敗し、倒産させてしまいます。しかし負債を完全に整理したうえで、単身下関の石油店にて奉公にです。

その後1897年（明治30年）頃、27歳で家族を伴って長崎に移住。高平町の長屋に落ち着くも、他国者（よそももの）と言われて辛い思いをしたそうです。銅座は長久橋あたりの貿易商に勤めるかわら、ランプと石油の商売を行っていたといえます。一説には、一時期大波止で蓄音機の香具師（蓄音機を道行く人に聴かせてお金をいただく）をしていたとも言われています。（今の私の音楽好きは曾祖父ゆずりかもしれません。）

## ◆第一次創業・藤岡清一商店（1899年～1940年）

1899年、灯油や潤滑油の販売を生業とする「藤岡清一商店」を創業しました。

明治～大正期の長崎県は造船や商船向けの灯油や潤滑油の需要が急増。藤岡清一商店は、三菱造船所の近代化など、近代長崎の工業燃料インフラの誕生期に合わせて成長しました。大正期には長崎港は九州最大の国際港になり、市内にはガス灯や電灯が普及、灯油の流通は生活基盤産業となりました。石油事業は生活燃料＋工業燃料の両輪に乗りました。

## 1914年（大正3）には第一

次世界大戦が勃発。造船需要の急増で長崎が活況を帯び、工業燃料の需要が高騰し、石油事業の基盤が強化されました。昭和初期は造船拡大と軍需経済による燃料需要が急伸。1930年代（昭和初期）は、石油事業は「長崎の軍需工業」とともに最大の成長期を迎えます。1939年に第二次世界大戦、1940年（昭和15）には、戦時統制で石油販売は国の管理下におかれ、民間供給は大幅に制限されました。その結果、藤岡清一商店は解散を余儀なくされます。清一は1940年に草創期の役割を終えたかのように77歳で逝去します。

## ◆第二次創業・戦後復興と藤岡石油店（1949年～1998年）

1945年、長崎市に原爆が投下され、終戦を迎えます。都市は壊滅し、経済ゼロ地点からの石油インフラが再建されることになりました。燃料統制の中で、民間供給はほぼ停止していましたが、1949年（昭和24年）にGHQにより統制が緩和され、日本の石油自由販売が再開しました。それに合わせて藤岡石油店を創業したのが祖父の藤岡英二でした。

長崎では復興住宅・運送・建設業の再始動で燃料需要が急増。藤岡石油店の創業は長崎再起動を燃料で支える役割であったと思います。1961年（昭和36年）に藤岡英二が61歳で急逝、藤岡滋が三代目社長となりました。



1960～70年代の高度成長期において急激な車社会化が進み、県の統計によれば長崎の自動車台数が10年間で6倍となり、石油事業が地域の中心となりました。グループ会社でありますトヨタカーロー長崎はそのさなかに1964年（昭和39年）に創立されました。1973年（昭和48年）第一次オイルショック、1979年の第二次オイルショックで石油価格は高騰し、石油販売業は省力化・効率化へシフトしました。また、環境問題や公害問題で化石燃料が問題視されはじめました。藤岡石油店は事業多角化・効率化の転換を模索することになります。

私の父である藤岡邦雄は藤岡石油店の専務・副社長として長く会社実務を担うとともに、石油組合



他の公務にも尽力しました。石油元売りの統合、販売事業者の横行、粗悪品の販売など様々な業界の課題に直面しながらも、石油需要は伸び続け、1990年には県内に25か所のガソリンスタンドを有するまでになりました。

1997年に石油製品の輸出承認制度の実質自由化。1998年に有人監視方式のセルフ給油所(セルフSS)が解禁されました。規制が緩和されたことにより、異業種(商社、スーパー、農協など)が石油製品輸入・販売市場に参入。セルフSSの解禁に伴い、販売所数の変動、競争激化が始まりました。規制緩和+輸入自由化が価格低下圧力となり、ガソリン卸売・小売価格の低下傾向が見られはじめました。それに伴い日本石油株式会社と三菱石油株式会社(合併など、元売り・精製会社の再編が加速していききました。

### ◆第三次創業・株式会社フジオカ(1999年)

1998年、私は前職より長崎に戻り、当時の藤岡石油店に入社いたしました。1999年は創業100周年の年であり、この年を契機に藤岡石油店は子会社を統合し、「株式会社フジオカ」と社名変更いたしました。石油事業及び自動車関連事業を中核として、消防機器の設置メンテナンス事業、事務機器関連販売事業、ゴルフ練習場事業他、石油事業の枠におさまらない事業展開を進めました。2006年に藤岡滋・邦雄が相次いで逝去し、私 藤岡秀則が社

の代表となりました。2007年に不動産事業部を開設し、現在は賃貸マンションを4棟展開。2010年に熊本県天草にて車海老養殖事業を開始。2011年には「デイサービスふじの丘」を東長崎に開設、また同年飲食店舗事業を開始。2014年にオープンした「バラモン食堂」はコロナ禍など厳しい時期もありましたが、昨年10周年を迎えることができました。

### ◆第四次創業・フジオカホールディングス(2025年)

現在当社は創業126年となりました。

暫定税率は石油業界にとって長年の懸案でしたが、ご存知の通り廃止となりました。その背景にはカーボンニュートラルなどの環境問題への対応があり、石油業界を取り巻く環境は非常に厳しさを増しています。

規制緩和以前には石油元売りは14社、販売店舗は6万か所ありましたが、現在は元売り5社、販売店舗は2万7千か所まで減っています。当社もピーク時に25か所あったガソリンスタンドは、セルフ化や大型店舗化などの合理化を通じて、現在の直営スタンドは県内6か所となっています。

世界各国ではカーボンニュートラルに向けての野心的な目標を維持しつつも、ただ自動車に関してはEUが2035年ガソリンエンジン車の新車販売禁止方針を変更、財政的懸念を背景に急速なEVシフトにプレッシャーがかかっている状態であり、現実的にはまだ

まだ石油の存在価値はあるところですが、また日本各地での地震、林野火災、線状降水帯、豪雪など様々な自然災害に対して、ガソリンスタンドは地域エネルギー供給の最後の砦として緊急車両や避難所、病院などへの燃料供給に尽力しています。

2025年4月より、株式会社フジオカとトヨタカローラ長崎株式会社、マストラグレイジ株式会社は株式を統合し、「フジオカホールディングス株式会社」となりました。将来の事業承継や株式対策という側面もありますが、最大の目的は、グループとしての一体感の醸成とスケールメリットおよび発信力の強化にあります。

清一が立ち上げた藤岡清一商店を「第一の創業」、英二が戦後新たに再生した藤岡石油店を「第二の創業」、滋・邦雄がグループをまとめたフジオカを「第三の創業」とすれば、今回のホールディングス化はフジオカの「第四の創業」と位置づけることができます。この節目を新たなスタートと捉え、フジオカは企業M・V(ミッション・ビジョン・バリュー)企業としての在り方・経営方針を更新しました。

### ◆フジオカのミッション／お客様との約束事

心まで動かすエネルギーになる。

### ◆フジオカのビジョン／私たちはどんな会社を目指すのか

「フジオカでよかった」を、今日もみんなで。

◆フジオカのバリュー／その為に定義した私たちの働き方  
「何事も、おもしろく、楽しく、真剣に」「チームで仕事をする」(チーム6則)

これらの方針は、宣言して終わりではなく、ひとりひとりの社員が、体現してこそ、はじめて成し遂げられるもの。むしろここからスタートです。このM・Vを、単に伝書バトのように文字通り、そのまま部下に話してほしいわけではなく、自分の言葉と行動で伝えてほしいと思っています。社員に「フジオカでよかった」という言葉が増えれば、それはきっと良い会社であるという証しだと思いますし、お客様からもご支持いただけると思っています。

### ◆これから

人口減少・少子高齢化・カーボンニュートラル・災害対応など社会問題は続きます。時代の変化に合わせて私たちフジオカも変化していかなければなりません。フジオカの柱であるサービス・ソリューションを中心とした石油関連商品および自動車関連事業については、技術革新やそれに伴う新しいエネルギーにも対応したサービスが求められることでしょう。多様化・高度化するお客様の要望にお応えできるよう、若い世代を中心に色々なことにチャレンジできる企業を目指したいと考えています。



# 第16回「税に関する 絵はがきコンクール」

応募総数 697通

応募校 27校



展示風景（長崎市役所ギャラリーウォール）



展示風景（浜屋ステップギャラリー）



審査風景



ポスター掲示風景（アタチ産業）

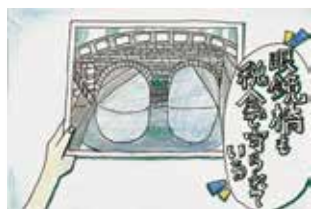


ポスター掲示風景（森美工務店）



長崎法人会会長賞

西城山小学校  
武田 将暉さん



長崎法人会女性部会長賞

諏訪小学校  
片山 結菜さん



長崎税務署長賞

戸町小学校  
橋本さくらさん



桜町小学校  
譚 凱さん

審査員特別賞



時津東小学校  
沖本あかりさん

長崎法人会青年部会長賞



奨励賞 桜町小学校  
宮川 そらさん



奨励賞 桜町小学校  
前田 あんさん



奨励賞 桜町小学校  
石橋菜々子さん



奨励賞 坂本小学校  
吉崎美智子さん



奨励賞 坂本小学校  
上野 瑛祐さん



奨励賞 戸町小学校  
坂口 華音さん



奨励賞 戸町小学校  
緒方ひかりさん



奨励賞 高城台小学校  
重松 奈那さん



奨励賞 桜町小学校  
立花 慶さん



奨励賞 桜町小学校  
栗山 縁子さん



奨励賞 山里小学校  
山本 有悟さん



奨励賞 西浦上小学校  
平田こはるさん



奨励賞 長与小学校  
五嶋 凜さん



奨励賞 長崎大学教育学部附属小学校  
前田 恋羽さん



奨励賞 戸町小学校  
川口果里奈さん



# 税に関する作文

税務署では次代を担う高校生に対し税の意義や役割について理解を深めていただくため、「税に関する作文」の募集を行っています。多数の応募作品の中から受賞された2編をご紹介します。

## 《福岡国税局長賞》

### 『支えられている社会、支えていく未来』

長崎女子商業高等学校

三年 堀内 美玖



私の通う高校ではアルバイトが禁止されている。そのため、働いてお金を稼ぐ経験はまだないが、今年の夏に、地域の夏祭りにボランティアとして参加する機会があった。そこで得た体験を通して、「税金は自分にはまだ関係ないもの」だと思っていた考えが大

きく変わった。

私の役割は、子ども向けのゲームコーナーの運営だった。ヨーヨー釣りや輪投げなど、準備から当日の運営まで、地域の人たちとの交流が楽しく、自分が役に立っていることに喜びを感じていた。しかし準備の間、ある自治会の方が話していた「市から補助金が出てるから、こういうイベントができるんだよ」という言葉が、ふと耳に残った。

その後、休憩時間に思い切ってその方に質問してみた。「補助金って、どこから出てるんですか。」すると、「市民が納めている税金だよ。それを使って、地域のイベントや施設を支えているんだ」と教えてくれた。私は驚いた。お祭りは、地域の人たちが自主的に集まって開いていると思っていたが、実際には、税金による支援があつて成り立っているという事実を、そのとき初めて知った。

その日の帰り道、街を歩きながら、今まで自分が当たり前のように使ってきたもの、公園、図書館、学校、道路、それらの多くが税金によって整備されていることに気づいた。私たちの暮らしのあらゆるところに、税金は静かに確かに使われている。そしてそれは、今、私が無意識のうちに支えられているということでもあった。

税についての意識は、それ以来少しずつ変わった。授業で学んだ内容にもより興味が湧くようになり、「納税」という言葉がただの義務ではなく、「社会の一員として果たす責任」なのだと理解できるようになった。まだ私は税金を納める立場ではないが、将来働くようになったとき、自分の払う税金が誰かの役に立ち、社会の役に立つという実感を持てるような生き方をしたいと思った。

夏祭りの終盤、打ち上げ花火を見上げながら、多くの人たちが笑顔で手を振っていた。その光景を見て、私は一人ひとりの小さな力が集まって、このような幸せな空間をつくり出しているのだと感じた。そして、その背景には目に見えない支え、つまり税金があるということを忘れてはいけないと思った。

私たちが安心して暮らせる社会

は、誰かの努力や支え、そして納税という行動の上で成り立っている。今回の夏祭りでの体験は、そんな社会の仕組みを体感し、将来の自分の生き方を考える大きなきっかけとなった。だからこそ、これからの自分は、ただ「支えられる側」ではなく、「支えていく側」として何ができるかを考えていきたい。

これからも日々の暮らしの中で、社会とのつながりを感じながら成長していきたい。そしていつか、誰かに「支えられている」と思ってもらえるような存在になりたい。

## 《長崎税務署長賞》

### 『税金が繋ぐ、平和の記憶』

長崎女子商業高等学校

三年 藤原 涼香





「平和って、いつか当たり前じゃなくなるのかもしれない。」長崎でピースボランティアを始めてから、そんなことを考えるようになった。私は今、被爆の実相を学び、平和の大切さを伝える活動をしている。そのきっかけは、私のひいおばあちゃんの存在だった。ひいおばあちゃんは長崎で被爆した。

「でもね、私は運が良かったのかもしれない。原爆の辛さを強く感じることはそう多くはなかったけれど、まわりでは多くの人が苦しみ、大切な人を失っていたの。」そう語ってくれた。でも、焼け野原になった街、真っ赤に染まった空。そんな中を生き抜いてきたことだけでも、本当にすごいし、どれほど辛かったのだろうと思う。

今、ひいおばあちゃんは原爆手帳を持ち、医療費の助成などの支援を受けている。それらの制度の多くが、「税金」で支えられていることを知ったとき、私は初めて税の持つ大きな力に気づいた。

税金と聞くと、私にはずっと遠い世界の話のように感じていたけれど、実は私の身近な大切な人を支えてくれていることを知り、「税って人の命や安心を守るもの

なんだ」と思えるようになった。被爆者の方々は年々高齢になり、体験を語れる人が少なくなってきた。だからこそ、資料館や平和公園、ボランティア活動や平和教育の場がますます大切になっていくと思う。これらもすべて、税金で支えられている。私がボランティアとして活動できるのも、そういった環境が整っているからこそだ。

税金は、道路や建物をつくるだけではなく、「人の記憶」や「平和の願い」までも支えているのだと気づいたとき、私は初めて税金に感謝の気持ちを持った。

あの日、ひいおばあちゃんが、「でもね、私は運が良かったのかもしれない…」と語ったその言葉の裏には、税によって守られてきた日々があった。

その想いと支えを、今度は税を納める立場になる私たちが繋げていく。税金をただの「義務」ではなく、「誰かの命と記憶を守るための大切なお金」だと心から思えるようになりたい。

「平和っていつか当たり前じゃなくなるのかもしれない。」でも、だからこそ私は、税がつくる優しさや支えの形を信じたい。



## キャッシュレス納付しませんか？

### 振替納税

便利！  
安全！

- ◆ 振替日にご指定の預貯金口座から納税額を自動引き落としする制度です。
- ◆ 金融機関や税務署の窓口まで現金を持ち歩く必要がなく安全。
- ◆ 手続は初回のみ。翌年以降は継続して利用。

「振替依頼書」を書面又はオンライン(e-Tax)にて、納付の期限までに所轄税務署へご提出ください。

※ 残高不足等で振替納税ができない場合は、納付の期限の翌日に遡及して、延滞税計算の対象となります。

### スマホアプリ納付

簡単！  
便利！

- ◆ スマートフォンから各種 Pay 払いを選択して納付できます。



※ 令和7年9月末現在の情報です。ご利用可能な Pay 払いは変更となる場合があります。

詳しくはコチラ→





長

崎

税

務

署

からのお知らせ

## 令和7年分確定申告について

令和7年分確定申告の相談は **2月** からです

※ 1月は令和7年分の申告相談を受付けていません

# 税務署では マイナンバーカードを 利用した『スマホ申告』を 推進しています

### 必要なもの



スマホに  
マイナポータルアプリ  
をインストール

- ✓ マイナンバーカード
- ✓ マイナンバーカード読取対応のスマホ
- ✓ マイナンバーカードのパスワード2つ

① 署名用電子証明書のパスワード(英数字6～16文字)

② 利用者証明用電子証明書のパスワード(数字4桁)

パスワードを忘れた場合やロックされた場合の対処法については、公的個人認証サービスのポータルサイトをご確認ください。



### 準備



利用者登録はこちら  
(ログイン)



確定申告の事前準備  
ページはこちら



- ✓ マイナポータルで利用者登録  
すでにマイナポータルで利用者登録済みの方はログインします
- ✓ 「確定申告の事前準備」ページで取得したい  
証明書等を選択  
証明書等の種類や証明書等を発行する発行元を選択  
します

### スマホ申告



作成コーナー



納税はキャッシュレス

事前準備が完了したら、確定申告書の作成を開始！

確定申告書等作成コーナーからマイナンバーカードでe-Tax

### 困ったら

作成コーナーの  
お問合せ先はこちら

e-Tax・作成コーナー  
ヘルプデスク

0570-01-5901

月曜日～金曜日 9時～17時  
※休休日及び12月29日～1月3日除く。



国税庁LINE公式  
アカウント



# 令和7年度「税を考える週間」

テーマ

## ★ 暮らしを支える税 ★

国民の皆様、税についてより深く理解していただくため、国税庁をはじめ全国の国税局や税務署では毎年11月11日から17日までを「税を考える週間」とし、各種の広報活動を行っています。

長崎税務署管内においても各種の広報活動が行われましたので、一部ご紹介いたします。

税を考える週間街頭PR



## 第41回法人会全国大会 高知大会

第41回法人会全国大会が10月16日（木）、高知県立県民文化ホールで開催され、全国から約1,600人が参集し当会からは8人が参加しました。株式会社都築経営研究所 代表取締役である都築富士男氏による「変化の時代の経営、危機をチャンスに」の演題で記念講演が行われ、その後式典では令和8年度税制改正提言の報告や、青年部会による租税教育活動、健康経営活動の報告が行われました。



## 第39回法人会全国青年の集い 山梨大会

去る令和7年11月20日から21日に山梨県甲府市にて第39回法人会全国青年の集い山梨大会が開催され、正副部会長を中心に7名で参加して参りました。今年は「人は石垣 人は城 ～光り輝く未来のために～」を大会スローガンに、全国の青年部会員約1,900名の登録がありました。

大会1日目の11月20日には全法連青年部会連絡協議会、租税教育活動プレゼンテーション、健康経営大賞、及び部会長ウェルカムパーティーが、大会2日目の11月21日には部会長サミット、会員交流分科会、記念講演、大会式典及び大懇親会が開催されました。20日の租税教育活動プレゼンテーションでは、鳥栖法人会が最優秀賞を獲得され、税を身近に感じていただける租税教室の重要性を再認識できました。そして、21日の記念講演会では株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ代表取締役社長佐久間悟氏による「プロヴィンチア（地方クラブ）の挑戦」～フットボールクラブの枠を超えた存在と役割～と題した講演が行われ、スポーツ（サッカー）を通じた地域連携と健康経営の最前線が語られました。

全国青年の集いは今後の地域活動の手がかりとなり、青年部会活動の可能性を感じることができる学びの多い時間となります。来年の第40回法人会青年の集いは島根大会となります。多くの会員で参加しましょう。





## 会務日誌 (令和7年9月～7年12月)

会議・事業名	開催月日	参加人数	テーマ・事業内容
税務研修会(8回シリーズ)(7)	7. 9.10	32	テーマ: 法人税の優遇措置 講師: 小山 翔 税理士
広報委員会(第2回)	7. 9.11	8	広報紙「いしだたみ」令和8年1月1日号 編集会議
長崎税務署管内税務運営協議会総会	7. 9.18	1	令和6年度税務運営協議会決算報告について、令和7年度税務運営協議会予算案について
税務研修会(8回シリーズ)(8)	7. 9.18	32	テーマ: 令和7年度税制改正 講師: 小山 翔 税理士
第19回女性部フォーラム(北海道大会)	7. 9.18	8	大会式典・記念講演会
税務研修会(4回シリーズ)(1)	7. 9.22	39	テーマ: 消費税のあらまし、取引分類(1) 講師: 近藤 泰彰 税理士
青年部会社会貢献委員会(第6回)	7. 9.22	10	令和7年度事業内容検討: ながさKid's Town
長崎間税会青年部役員会	7. 9.24	9	研修会・懇談会開催、新規会員加入勧奨について 他
県内事務局長等会議(第1回)	7. 9.25	10	全法連令和7年度第1回全国県連専務理事等会議の報告について 他
青年部会例会懇親会	7. 9.26	39	部会長報告・各委員会報告 他
絵はがきコンクール審査会	7.10. 1	8	選考委員: 長崎市教育委員会、長崎税務署、長崎法人会役員
長崎間税会組織委員会	7.10.15	7	令和7年度新規会員増強推進状況について 他
税務研修会(4回シリーズ)(2)	7.10.15	36	テーマ: 課税区分など 講師: 近藤 泰彰 税理士
第41回法人会全国大会(高知大会)	7.10.16	8	大会式典・記念公開講演会
決算期別法人税等説明会(10・11・12月)	7.10.16	17	法人税の概要(法人税・源泉所得税・消費税) 講師: 長崎税務署担当官
女性部会公開文化セミナー	7.10.22	24	テーマ: 『捨てることより大切なこと』～暮らしに正解を求めすぎいませんか?～ 講師: 整理収納コンサルタント 今長 未央 氏
税務研修会(4回シリーズ)(3)	7.10.23	35	テーマ: 計算方法など 講師: 近藤 泰彰 税理士
長崎間税会長崎ブロック協議会	7.10.24	23	組織の拡充強化について、全法連の最重点施策の実施について 他
中間監査	7.10.27	1	令和7年度中間監査 野崎地平税理士事務所 野崎 地平 税理士
税務研修会(4回シリーズ)(4)	7.10.29	45	テーマ: インボイス制度など 講師: 近藤 泰彰 税理士
長崎優良申告法人会・青女部会合同研修会	7.10.29	42	テーマ: 税務行政の現状と課題 講師: 長崎税務署長 石津 武志 氏
税に関する絵はがきコンクール作品展示	7.11. 3	100	浜屋百貨店ステップギャラリー(11/5～13) 長崎市役所19階ギャラリーウォール(11/14～26)
税を考える週間記念公開講演会	7.11.11	153	テーマ: 地域を元気にするスポーツのチカラ! 講師: 元日本テレビアナウンサー・フリーアナウンサー 上重 聡 氏
税に関する絵はがきコンクール表彰式	7.11.12 ～11.19	9	上位5賞受賞者訪問(西城山・戸町・諏訪・時津東・桜町小学校)
女性部会「社会貢献活動」	7.11.14	17	「税を考える週間」PR 税に関する資料街頭配布: 税務署チラシ、間税会チラシ、ゴミ袋、ティッシュ
令和7年分 年末調整説明会(リアル)	7.11.18	130	講師: 長崎税務署、長崎市役所担当職員
令和7年分 年末調整説明会(オンライン)	7.11.18	166	
青年部会社会貢献・租税教育合同委員会(第7回)	7.11.18	12	令和7年度事業内容検討: ながさKid's Town
第39回法人会全国青年の集い(山梨大会)	7.11.21	7	大会式典・記念講演会
青年部会会員交流委員会(第3回)	7.11.26	9	令和7年度研修会・懇親会について 他
女性部会視察研修旅行	7.11.27	24	軍艦島視察 他
健康経営委員会(第1回)	7.11.28	5	健康経営委員会 全法連の動き 今後の長崎法人会の動き・方向性
長崎間税会青年部臨時総会・研修会・懇親会	7.11.28	17	テーマ: 税務行政におけるオンラインツールの利用等 講師: 長崎税務署統括国税調査官 有門 徹 氏
新設法人説明会	7.12. 3	25	新設法人に対する税に関する説明会 講師: 長崎税務署担当官
青年部会 経営関連セミナー・懇親会	7.12. 8	47	テーマ: 切らないがん治療先進医療「陽子線治療」について 講師: メディボリス国際陽子線治療センター 福岡事務所 所長 広庭 孝次 氏

## 令和8年度 税制改正に関する提言活動実施

11月8日及び12月11日に石橋文税制委員会委員長と永田吉朗副委員長が西岡秀子衆議院議員ならびに鈴木史朗長崎市長を訪問し「令和8年度税制改正に関する提言」を手渡し、内容を詳細に説明しながらその実現に向け要望しました。



11月8日 西岡衆議院議員



12月11日 鈴木長崎市長

## 令和8年度 税制改正スローガン

- 社会保障に充てる消費税の減税は慎重な検討が必要 将来世代にツケを回さない仕組み作りを!
- 「金利のある世界」への回帰を踏まえ、金融市場の動揺を招かない財政運営を!
- 企業への過度な社会保険料負担を抑制し、中小企業の活性化に資する税制措置を!
- 本格的な事業承継税制を確立し、地域経済と雇用の担い手の中小企業を守れ!

法人会会員のみなさまに

# 経営者大型総合保障制度

生命保険と損害保険の組み合わせにより、万一の場合はもちろん、働けなくなった場合のリスクに備えるための各種制度商品をご用意しています。

さらに、2019年7月から総合型 $\text{V}$ Lタイプ $\alpha$ を新発売いたしましたので「保険金額」「保険期間」に加えて「保険料・解約払戻金のバランス」をオーダーメイドで設定いただけるようになりました。

法人会の経営者大型総合保障制度

広げよう  
企業保障の  
大きな傘を

## 〈会社をお守りするトータル保障プラン〉



◎上記商品の正式名称は次のとおりです。

**総合型 $\text{V}$ Lタイプ $\alpha$** ：大同生命の無配当歳満期定期保険（解約払戻金抑制割合指定型）と  
AIG損保のベーシック傷害保険

**Tタイプ**：大同生命の無配当就業障がい保障保険（身体障がい者手帳連動・無解約払戻金型）

**Jタイプ**：大同生命の無配当重大疾病保障保険（無解約払戻金型）

**一時金型 Mタイプ**：大同生命の無配当入院一時金保険（無解約払戻金型）

◎ご検討・ご契約にあたっては、「法人向け保険商品のご検討に際してご留意いただきたいこと」「設計書[契約概要]」「注意喚起情報」「ご契約のしおり」「約款」を必ずご覧ください。

◎記載は2023年6月現在の内容です。将来変更となる可能性があります。

引受保険会社

**DAIIDO** 大同生命保険株式会社

長崎支社/  
長崎県長崎市桜町5-3（大同生命長崎ビル4F）  
TEL 095-826-0161

**AIG** AIG損害保険株式会社

長崎支店/  
長崎県長崎市桜町5-3（大同生命長崎ビル3F）  
TEL 095-828-0881

F-2023-0005（2023年5月16日）  
23-073010 2023-05

# 謹賀新年

今年も法人会の  
福利厚生制度の普及を通じ  
会員企業の役員・従業員と  
そのご家族の皆様  
に  
安心をお届けしてまいります  
本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます  
令和八年



〈引受保険会社〉

**Aflac** アフラック

長崎支社

〒850-0032 長崎市興善町2-24 長崎第一生命ビルディング8F

法人会用フリーダイヤル ☎ **0120-876-505**

受付時間/9:00～17:00(土日祝日除く)